



2014年度第1四半期決算説明資料

2014年7月31日

I. 2014年度第1四半期決算実績

・第1四半期決算実績 サマリー	3
・第1四半期決算実績 セグメント別内訳	4
・貸借対照表・主要財務指標	5
・受注高・受注残高	6
・売上高	8
・営業利益	9

II. 2014年度業績見通し

・業績見通し サマリー	11
・セグメント別内訳	12

III. 補足資料

補足資料	14-19
------	-------

I . 2014年度第1四半期決算実績

(単位:億円)

	'13-1Q	'14-1Q	増減
受注高	5,854	8,171	+2,316
売上高	7,474	8,597	+1,122
営業利益	(4.7%) 353	(6.5%) 560	+207
経常利益	(3.7%) 280	(5.8%) 500	+220
特別損益	△ 38	-	+38
純利益	(1.8%) 136	(2.6%) 225	+88

➤ 売上高

M&Aの効果に加えて、在外グループ会社の決算期変更の影響などもあり、
機械・設備システム、エネルギー・環境を中心に増収

➤ 利益

営業利益: 機械・設備システムを中心に増益

純利益 : 営業利益の増加や特別損失の減少により増益

第1四半期決算実績 セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上高			営業損益		
	'13-1Q	'14-1Q	増減	'13-1Q	'14-1Q	増減	'13-1Q	'14-1Q	増減
エネルギー・環境	2,013	3,152	+1,138	2,849	3,008	+158	198	214	+16
交通・輸送	1,043	1,189	+146	1,277	1,147	△ 130	70	60	△ 9
防衛・宇宙	210	114	△ 96	812	823	+11	38	44	+5
機械・設備システム	2,468	3,590	+1,121	2,390	3,491	+1,100	72	235	+162
その他	398	375	△ 22	365	369	+4	22	22	△ 0
消去または共通	△ 279	△ 251	+28	△ 221	△ 243	△ 21	△ 48	△ 16	+32
合計	5,854	8,171	+2,316	7,474	8,597	+1,122	353	560	+207

貸借対照表

(単位: 億円)

	'13年度末	'14-1Q末	増減
売上債権	11,889	10,193	△1,695
たな卸資産	11,509	12,491	+982
その他流動資産	8,410	9,255	+845
固定資産	11,015	10,843	△172
投資等	6,035	6,425	+389
資産合計	48,860	49,209	+349
買入債務	8,014	7,231	△783
前受金	5,674	6,499	+824
その他	7,854	7,115	△738
有利子負債	9,574	10,082	+507
純資産	17,742	18,280	+538
(うち自己資本)	(15,433)	(15,886)	(+452)
負債・純資産合計	48,860	49,209	+349

資産

- 第1四半期の売上債権減少、たな卸資産増加の動きは、年度後半に引渡し工事が多い当社の傾向
- 引き続き資産圧縮や入金条件改善等、資産効率化を推進する

負債・純資産

- 有利子負債はコマーシャルペーパー発行により増加
- 純資産は利益剰余金の積み上がりにより増加
- 事業伸長・リスクに見合った財務基盤構築を図る

主要財務指標

	'13年度	'14-1Q	増減
自己資本比率	31.6%	32.3%	+0.7pt
有利子負債残高 (単位: 億円)	9,574	10,082	+507
D/ELシオ	0.54	0.55	+0.01

キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	'13-1Q	'14-1Q	増減
営業	967	176	△ 790
投資	△ 784	△ 552	+232
フリー C/F	182	△ 376	△ 558

(単位:億円)

	'13-1Q	'14-1Q	増減
受注高	5,854	8,171	+2,316

	'13年度末	'14-1Q末	増減
受注残高(※)	53,738	52,914	△ 823

※ ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない

➤ 市場動向

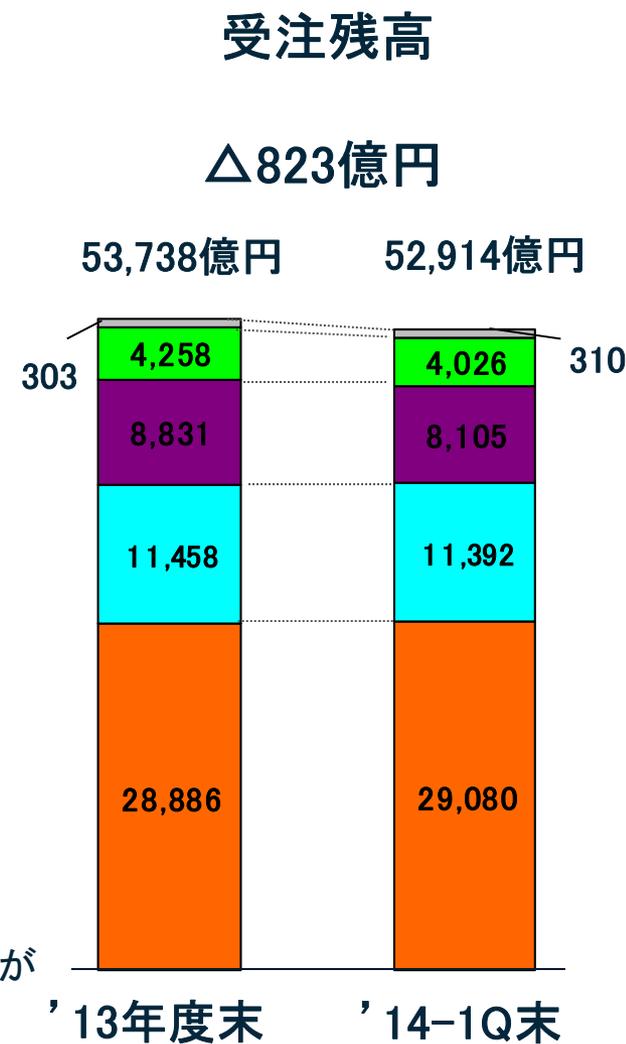
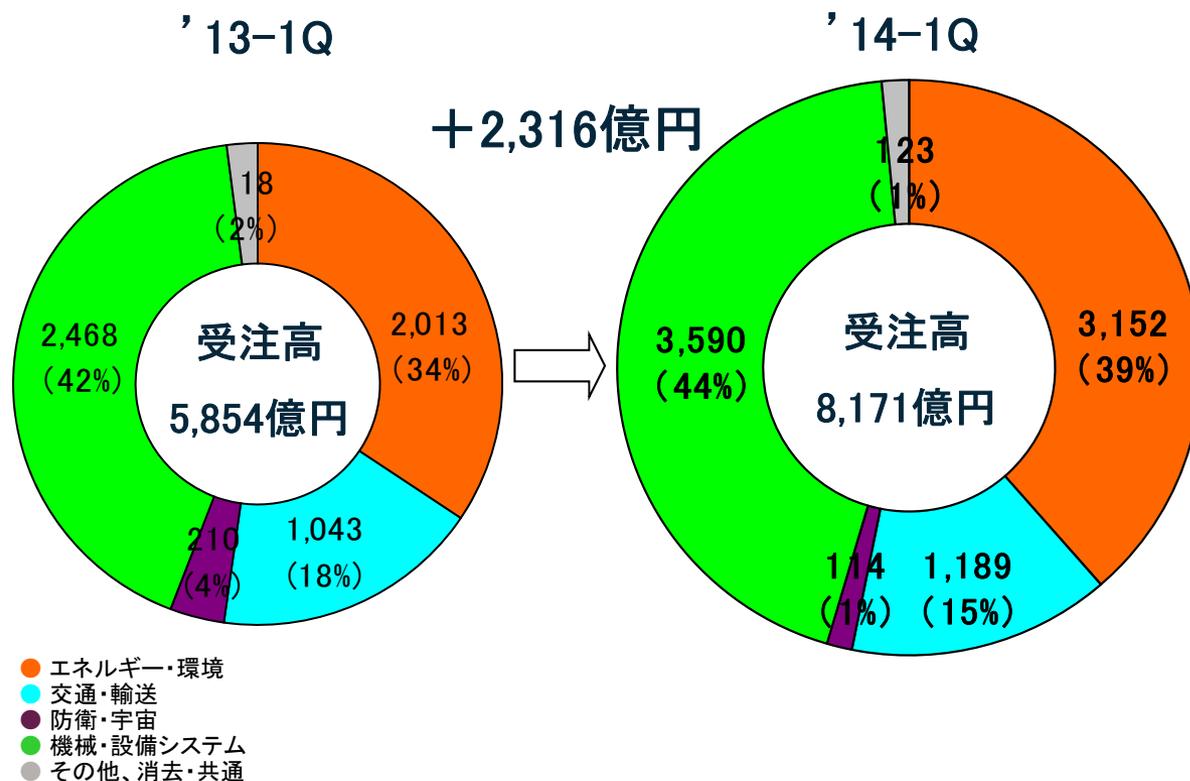
アジア: 中国は低調な状態が継続したが、その他の国は全体として底堅く推移

欧 米: 米国は緩やかに回復、欧州も緩慢なペースながら持ち直し

国 内: 政府の積極的な経済財政運営により、緩やかな回復基調が継続

➤ 当社グループの受注施策

火力事業を中心にM&Aの効果が現れはじめており、事業規模5兆円達成に向けてグローバルな受注活動を一層強力に展開する。



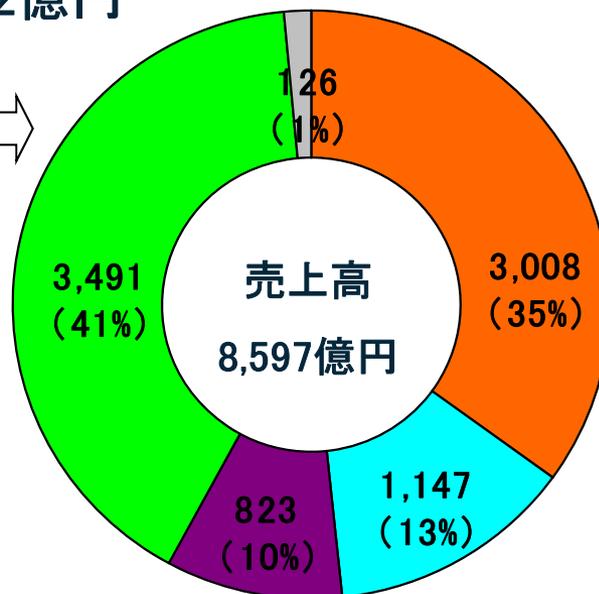
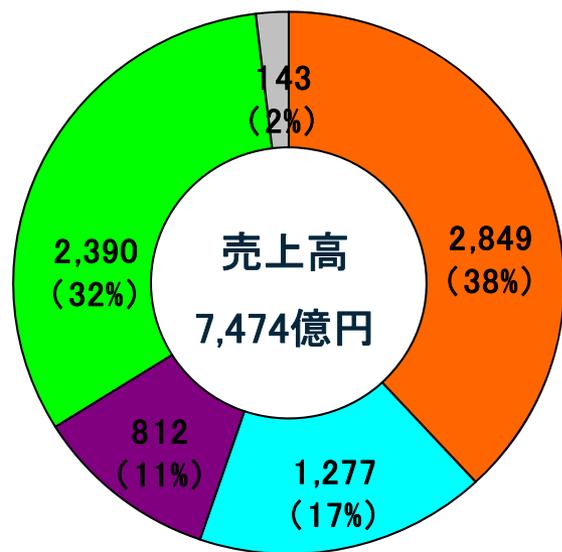
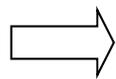
- **エネルギー・環境**
火力事業の統合効果により火力発電プラント等を中心に大きく増加
- **交通・輸送**
LNG船等の受注による商船の増加を初め、堅調に推移

- **機械・設備システム**
空調機(中国、欧州)、フォークリフト(事業統合効果)、ターボチャージャ(欧州、中国)等が大きく増加

'13-1Q

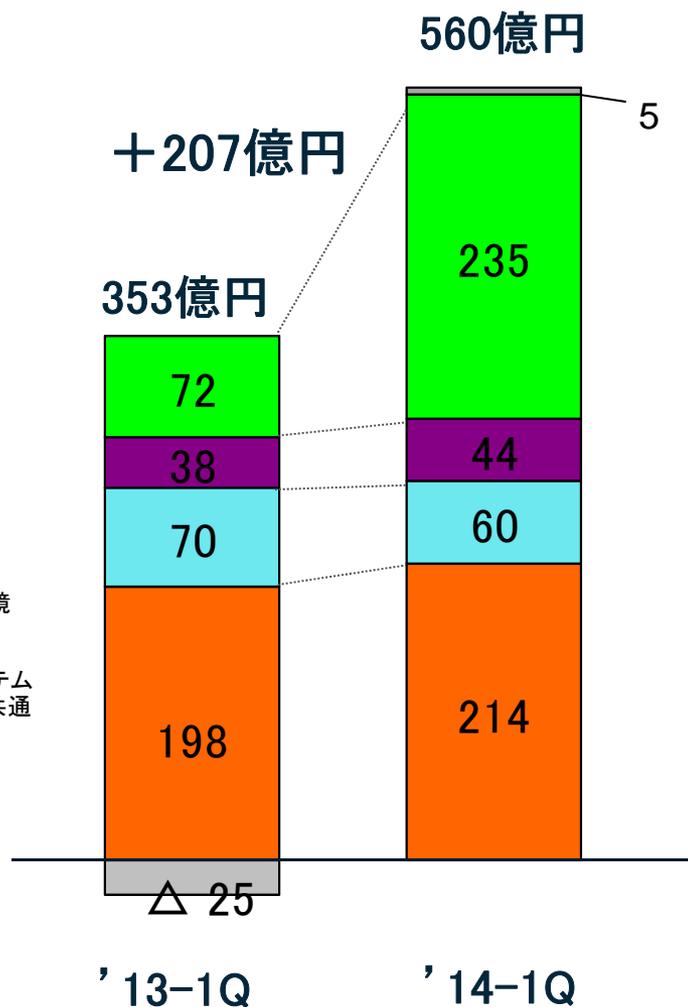
+1,122億円

'14-1Q



- **エネルギー・環境**
火力事業の統合効果により大きく増加
- **交通・輸送**
民間航空機を中心に前年同期並みに推移
- **防衛・宇宙**
宇宙、防衛航空機を中心に計画通りに進捗
- **機械・設備システム**
空調機(中国、欧州)、フォークリフト(事業統合効果)、ターボチャージャ(欧州、中国)等が大きく増加

- エネルギー・環境
- 交通・輸送
- 防衛・宇宙
- 機械・設備システム
- その他、消去・共通



- **エネルギー・環境**
火力事業の統合効果による売上増に加え、火力新設プラントの採算改善、アフターサービスの伸長により増益
- **交通・輸送**
売上減に伴い微減
- **防衛・宇宙**
宇宙の売上が増加したことにより増益
- **機械・設備システム**
空調機、ターボチャージャ、フォークリフト等の売上増に加え、コンプレッサの採算改善等により増益

Ⅱ. 2014年度業績見通し

(単位:億円)

	'13年度 実績	'14年度 見通し	増減		12事計
受注高	34,200	41,500	+7,299	+21.3%	40,000
売上高	33,495	40,000	+6,504	+19.4%	37,000
営業利益	2,061	2,500	+438	+21.3%	2,500
経常利益	1,831	2,300	+468	+25.6%	2,100
純利益	1,604	1,300	△ 304	△19.0%	1,300

【未確定外貨】 30億ドル、5億ユーロ

【前提為替レート】 1ドル=100円、1ユーロ=130円

- 受注高・売上高・利益 いずれも前回公表値から変更なし
- 受注高・売上高
近年のM&Aを原動力に約20%の成長を見込み、
将来の事業規模5兆円に向けて順調に進捗中
- 営業利益・純利益
12事計目標値を達成の見込み

2014年度業績見通し セグメント別内訳

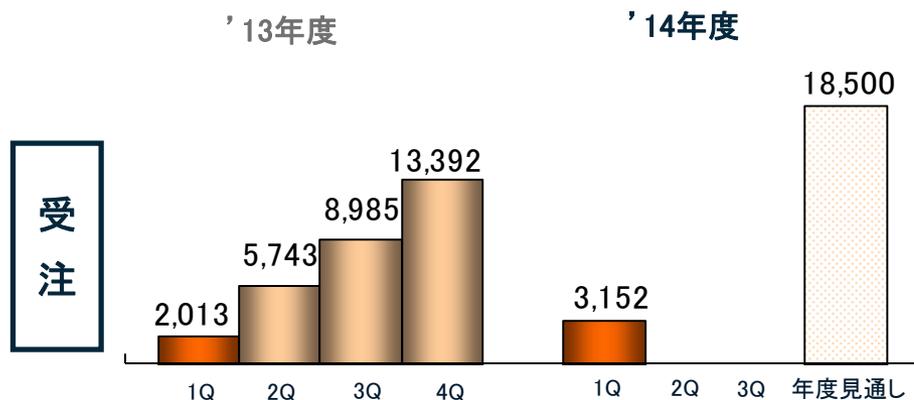
(単位: 億円)

	受注高			売上高			営業損益		
	'13年度 実績	'14年度 見通し	増減	'13年度 実績	'14年度 見通し	増減	'13年度 実績	'14年度 見通し	増減
エネルギー・環境	13,392	18,500	+5,107	12,539	17,000	+4,460	1,123	1,350	+226
交通・輸送	3,603	6,000	+2,396	4,636	5,000	+363	183	300	+116
防衛・宇宙	5,473	3,500	△ 1,973	4,694	4,500	△ 194	276	270	△ 6
機械・設備システム	11,065	12,500	+1,434	10,963	12,500	+1,536	516	680	+163
その他	1,835	2,000	+164	1,850	2,000	+149	146	130	△ 16
消去または共通	△ 1,169	△ 1,000	+169	△ 1,189	△ 1,000	+189	△ 184	△ 230	△ 45
合計	34,200	41,500	+7,299	33,495	40,000	+6,504	2,061	2,500	+438

Ⅲ. 補足資料

補足資料① 第1四半期決算実績 <エネルギー・環境>

(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期 +1,138億円の増加

(株)日立製作所との火力事業の統合効果もあり、火力発電プラントの受注が増加したことにより、前年同期を上回った。

【大型ガスタービン受注台数】

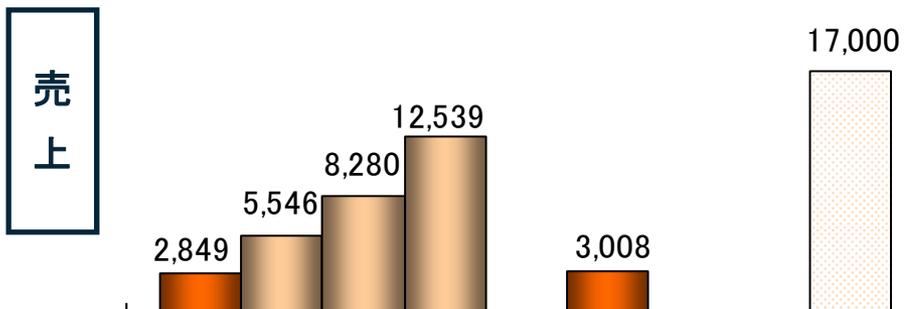
'13-1Q : 3台 (北米1台、国内2台)

'14-1Q : 0台

【大型ガスタービン契約残台数】

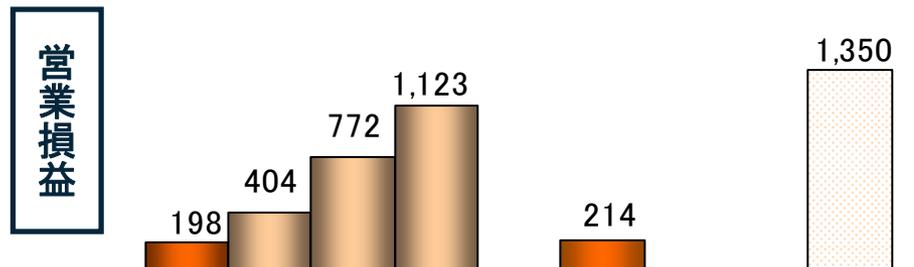
'13年度末 : 42台

'14-1Q末 : 40台



売上 : 対前年同期 +158億円の増収

火力事業の統合効果により、前年同期を上回った。

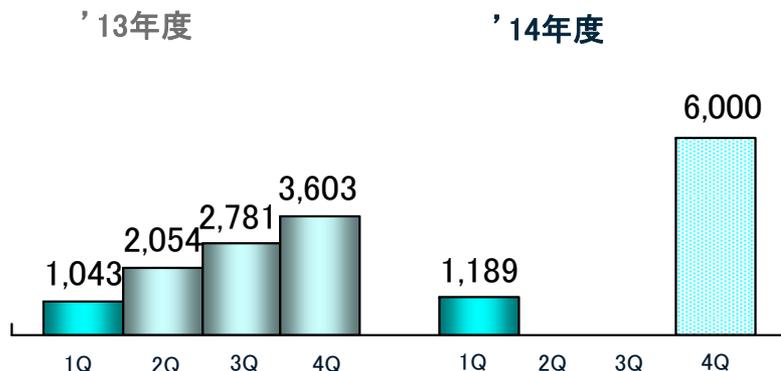


損益 : 対前年同期 +16億円の増益

火力事業の統合効果による売上増加に加え、火力発電プラント新設工事の採算改善、アフターサービスの伸長等により、前年同期を上回った。

(億円・各期の数値は累計)

受注



受注 : 対前年同期 +146億円の増加

前年同期に大型受注のあった交通システムが減少したものの、LNG船等の受注により、前年同期を上回った。

【商船 受注隻数】

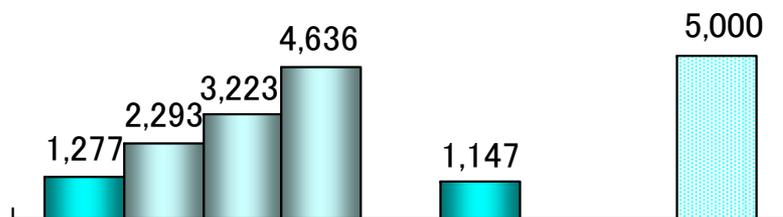
'13-1Q : 1隻 (1Q:1隻、2Q:2隻、3Q:1隻、4Q: 4隻)

'14-1Q : 3隻 (1Q:3隻)

【商船 契約残隻数】 43隻

(LNG船 9隻、LPG船5隻、フェリー/貨客船 5隻、巡視船 10隻 他)

売上



売上 : 対前年同期 △130億円の減収

民間航空機は前年度並みに推移しているが、商船が減少したため、前年同期を下回った。

【B777 引渡機数】

'13-1Q: 25機 (1Q:25機、2Q:25機、3Q:25機、4Q:24機)

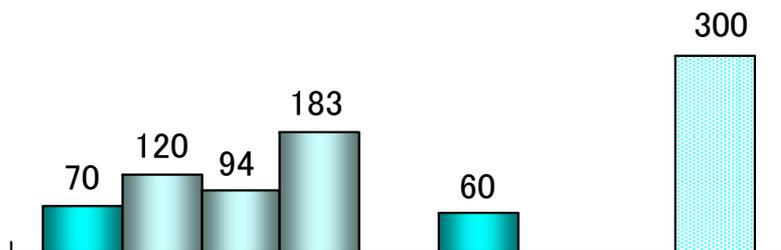
'14-1Q: 26機 (1Q:26機)

【B787 引渡機数】

'13-1Q: 16機 (1Q:16機、2Q:14機、3Q:19機、4Q:29機)

'14-1Q: 32機 (1Q:32機)

営業損益

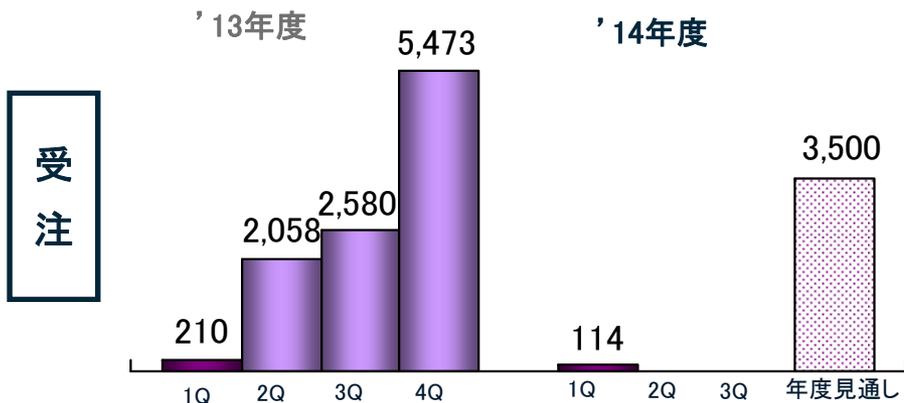


損益 : 対前年同期 △9億円の減益

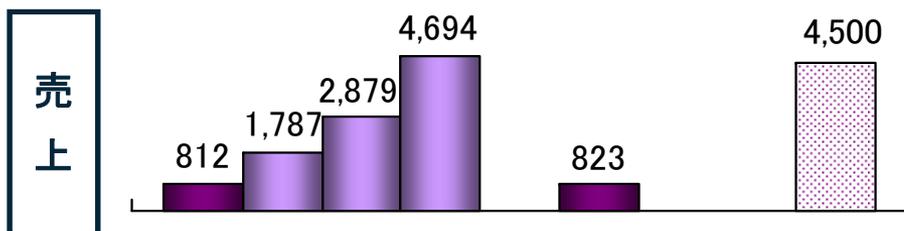
売上減少に伴い、前年同期を下回った。

補足資料① 第1四半期決算実績 <防衛・宇宙>

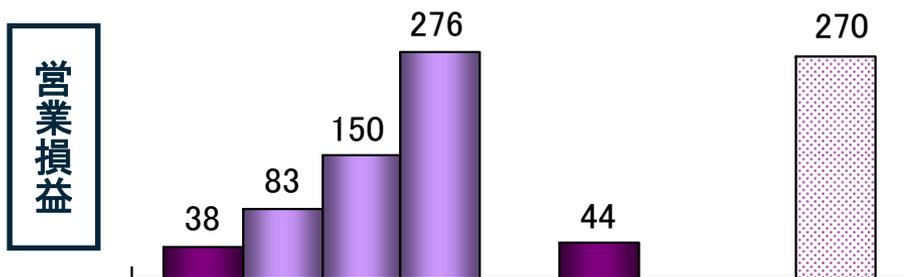
(億円・各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期 $\Delta 96$ 億円の減少
防衛関係が減少したことにより、前年同期を下回った。



売上 : 対前年同期 +11 億円の増収
H-II A ロケットを主とした宇宙並びに防衛航空機が増加した結果、前年同期を上回った。

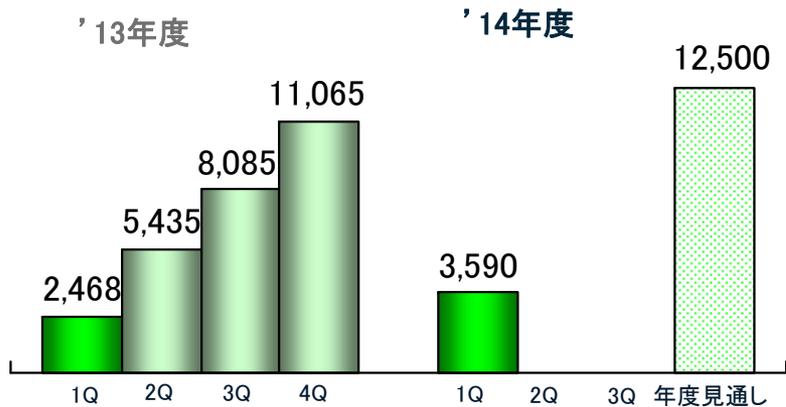


損益 : 対前年同期 +5 億円の増益
主に宇宙等の売上が増加したことにより、前年同期を上回った。

補足資料① 第1四半期決算実績 <機械・設備システム>

(億円・各期の数値は累計)

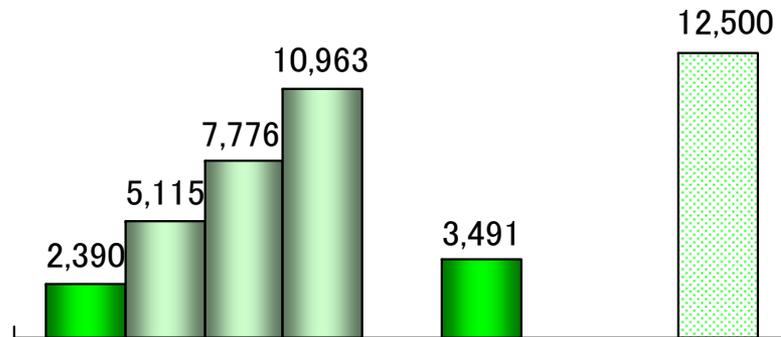
受注



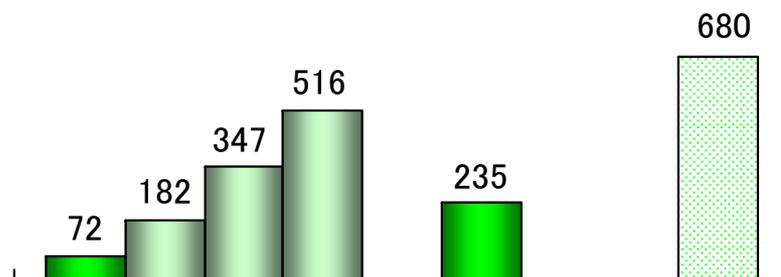
受注 : 対前年同期 +1,121億円の増加
売上 : 対前年同期 +1,100億円の増収

中国・欧州向けに空調機とターボチャージャが増加したほか、フォークリフトが事業統合効果により国内外で増加した。また、在外グループ会社の決算期変更影響などもあり、前年同期を上回った。

売上



営業損益



損益 : 対前年同期 +162億円の増益

空調機、ターボチャージャ、フォークリフト等の売上増に加えコンプレッサの採算改善等により、前年同期を上回った。

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	'13-1Q	'14-1Q	(単位:億円) '14年度 見通し
研究開発費	213	264	1,500
減価償却費	295	350	1,500
設備投資	264	415	1,500

2. 販売費及び一般管理費

	'13-1Q	'14-1Q	(単位:億円)
販管費	1,001	1,318	

3. 為替レート

	'13-1Q	'14-1Q
USドル(円/USドル)	100.1	102.0
ユーロ(円/ユーロ)	126.8	140.5

4. 海外地域別売上高

	'13-1Q	'14-1Q	(単位:億円)
アジア	1,415 (19%)	1,781 (21%)	
北米	1,637 (22%)	1,611 (19%)	
欧州	712 (9%)	993 (11%)	
中南米	174 (2%)	233 (3%)	
中東	77 (1%)	294 (3%)	
アフリカ	125 (2%)	239 (3%)	
大洋州	66 (1%)	120 (1%)	
合計	4,208 (56%)	5,274 (61%)	

5. 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		'13-1Q	'14-1Q
日本	売上高	6,234	6,153
	営業損益	295	421
北米	売上高	1,109	1,052
	営業損益	41	17
アジア	売上高	412	1,334
	営業損益	17	100
欧州	売上高	329	1,041
	営業損益	2	17
その他	売上高	57	119
	営業損益	△ 2	3
消去または共通	売上高	△ 667	△ 1,103
	営業損益	-	-
合計	売上高	7,474	8,597
	営業損益	353	560



この星に、たしかな未来を

A red brushstroke underline that starts under the first character and tapers to a point on the right side.